

こんにちは。白鳥です。

気が付いたら入職してから3年が経ちました。今年の4月から4号室所属になりました。

緊張してドキドキしている4月の頭に、ある4号室のご利用者様に「みんな優しいから大丈夫だよ」と

声をかけて頂き、安心したことを覚えています。改めまして、どうぞ宜しくお願いします。

今回は前回の続き、ベートーヴェン交響曲第5番（通称「運命」）3楽章から4楽章に繋がる時の、Timp（打楽器）が大好きで、それを中心に書こうと思います。

私は、音楽の学校に通っていました。本当は別の道に進みたいと思っていました。その道に進めない  
とわかった3月のある日、近所で市民オーケストラの練習があり、のぞいてみたところ、Timpが叩ける  
人がいないとのことで、気が付いたら6月の演奏会に出る事になりました。その時の曲が「運命」です。

「運命」には4つの楽章があり、1楽章は有名な「ダダダダーン」です。私には暗すぎて聴きたいと  
思えませんでした。しかし、演奏をするため2楽章3楽章と勉強を続けました。すると、明るい曲にな  
っていき、4楽章はこれでもかというくらい明るいメロディの連続です。そして、メロディが引き立つよ  
うな役割のうちの一つの楽器が、3楽章から4楽章を繋ぐTimpでした。4楽章の頭に気持ち良くメロ  
ディを演奏している姿を見ると嬉しくなります。

オーケストラにはさまざまな楽器（役割）があります。どんな楽器も、楽譜に書いてある限り無いと曲  
が完成しません。皆さんはどんな楽器をやりたいですか？（ちなみに打楽器の役割は伴奏や効果音、  
もりあげ隊が多いです。メロディはあまりありません。）